

次々と新しいビルが建ち、め

ざましい進化を遂げている

東京駅の八重洲エリア。

現在、その地下で巨大

な高速バスターミナ

ル建設工事が進行中

だ。工事は段階的に

3期に分けて行わ

れ、既に2022(令

和4)年9月に、第

1期エリアである「バ

スターミナル東京八重洲

地下B」が開業し、翌年に

は地上45階建ての「東京ミッドタ

ウン八重洲」がオープン。今年3月

には、第2期エリアとして「バス

スターミナル東京八重洲 地下A」が開

業。さらに、2029年には第3期エ

リアが開業予定。全体で20パー

ス(乗降場)を有する、国内最大規模

の高速バスターミナルが完成予定と

なっている。

○URが官民連携のハブ役を担当

国際都市東京の玄関口であり、重

要な交通結節点でもある東京駅。し

かし、その八重洲エリアでは、高速

volume 159

変わる日本の「暮らし」と「まち」



阿部民子 text by Tamiko Abe

Illustration by Shigeyuki Sakata

乗合バスや空港連絡バス等の停留

所が駅前交通広場内に収まりきらず

に道路上に散在。鉄道との乗り換え

の不便さや道路の混雑、行き先や停

留所のわかりづらさに加え、バス利

用客にとっては雨天や炎天下でバ

スを待たなければならぬ、などが

長年の課題となっていた。

課題解決のために、国土交通省や

東京都、中央区は、八重洲側の民間

開発にあわせてバスターミナル整備

の検討をスタート。2014年には、

学識経験者や国土交通省、東京都、

中央区、警視庁、バス協会及びUR

都市機構による「東京駅前・八重洲

バスターミナル整備推進委員会」を

設置。八重洲エリアの3つの市街地

再開発組合との官民連携プロジェクト

によるバスターミナル整備が進め

られてきた。

URは、3つの再開発事業の参加

組合員として事業に参画。事業主体

やスケジュールの異なる3地区の再

開発事業にまたがってバスターミナ

ル整備を進める役割を担っている。

「段階的に3エリアのバスターミナ

ルを整備していくため、まずはUR

が各再開発組合からバスターミナル

床を取得します。取得した床は、公

募により選ばれた京王電鉄バスさん

に賃貸して運営していただき、一体

的なバスターミナル機能を確保して

おります。URは3地区の異なる再

開発組合との調整役を担うほか、公

共的インフラとしての公平性と安定

的な運営を保つため、行政や自治

体、京王電鉄バスさんなど多岐にわ

たる関係者を取りまとめ、ハブとな

って円滑なバスターミナル整備に寄

与していると考えています」と説明

するのは、URの勝山紗希だ。

京王電鉄バス事業部課長の椎谷英

○快適で便利なバスターミナル

「バスターミナル東京八重洲 地下

A」開業により、乗降用バスは13

か所に拡大。天候に左右されず、東

京駅からヤエチカを経由し直結。初

めてでも迷わずたどりつける案内サ

インや100席以上の待合スペー

ス、スーツケースを持ったまま利用

できるトイレ、特大サイズも備えた

コインロッカーなど設備も万全。旅

客エリアと車路を隔てるガラスに

は、日本の四季折々の自然風景写真

を配置し、便利で居心地のよいター

ミナルになっている。

さらに、京王電鉄バスと株式会社

Will Smart 共同開発の運営システム

『スマートターミナルシステム』を

活用しているのも大きな特徴だ。京

王電鉄バス事業部主任の木山貴さん

は「乗務員がパネルをタッチする

と、案内表示や構内放送などが自動

的に作動。バスの車路に在車や誘導

表示が出る、先進的なシステムで

す。これにより、乗務員や事務方の

業務負担、業務効率化・省人化がか

ないました」と話す。

「バスターミナルの整備以降、周辺

を歩いていると『こんな場所にバス

ターミナルができたんだ』『仕事帰

りにそのまま温泉に行けるのがいい

ね』といった声を耳にする機会が増

えました。そうした一つひとつの反

応に触れるたびに、このプロジェクト

に携わることができた喜びと意義

を改めて実感しています。今後は、

より多くの方々にこの魅力を知って

いただけるよう、京王電鉄バス様と

も連携しながら、積極的なPRに取

り組んでいきたいと考えています」

とURの山岸亮太も言葉を継ぐ。

地下Aの開業により、高速バス停

留所の移行はおおむね完了。歩行者

空間や道路環境も大きく改善され

た。地上部にそびえ

立つ「TOROMYA

ESUTOWER(トフ

ロム ヤエスタワー)」

の各施設も順次開業

予定。3年後の第3

期エリア開業も控え、

東京駅八重洲口はま

すますにぎわいを増

しそうだ。

—— 社会課題を、超えていく。 ——

 UR都市機構

[企画制作]新潮社



バスの停車位置が分かりやすいレイアウト。広々としてゆったりした待合室。

